



石下中 学校だより

御城

「夢中の先に答えあり」

令和5年度
第1号
発行 4月14日 (火)
発行責任 松崎 巧
編集 大高 靖行

令和5年度 学校長あいさつ

今年度の定期人事異動で坂東市立猿島中学校から参りました松崎巧です。この伝統ある石下中学校に勤務できることを大変うれしく思います。私事ではありますが、石下中学校には平成7年度から平成13年度までの7年間、今から20年前ではありますが勤務しておりました。保護者の皆様の中にはややもすると担任かあるいは同じ時期を一緒に過ごした方もおられるのではないのでしょうか。PTA行事や学校行事等でお越しの際はお声掛けいただければ幸いです。



さて、生徒の皆さん、そして保護者の皆様、令和5年度がスタートしました。これまでの3年間はコロナ禍にあり様々な制限や制約が課せられて参りました。現在、新型コロナウイルス感染症は低い推移を保っております。この4月からは医療機関や介護施設など一部をのぞきマスク着用の義務は緩和され個人の判断に委ねられました。そしてゴールデンウィーク明けの5月8日からは5類相当に引き下げられ、これまでの社会生活に戻りつつあります。学校運営においても徐々にコロナ前に戻りつつあります。しかし、この3年間の中でマスクの着用は当たり前となり、マスクの着用が解除となっても、外すのが不安だ、外すのは恥ずかしい、中には、お家に祖父母がいるので外せないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今後、夏が近づき熱中症予防の心配もありますが、学校としましては外すことを強制するのではなく、本人や各家庭の状況を鑑みながら対応していきたいと考えています。周囲に人がいなかったり、外してみようと思えるようになれば自らマスクを外し、お互いの表情を見ながら楽しい学校生活を送れることを願っております。

ここで、新年度のスタートに当たり、生徒の皆さんに1つお話しします。それは、自分の将来をしっかりと見つめる1年としてください。自分を自分自身で成長させるために、一日一日、一步一步を着実に歩んでほしいと思います。小学校・中学校での義務教育の目的は、社会に出て生きていくための必要な基礎的な力を身につけることです。自分の個性や長所・短所、向き・不向きを見つけるとともに将来の夢や希望をもって生活し、将来に向けての必要な力をしっかりと身につけてください。先生と対話して、家族と対話して、地域の方々と対話して、最後は自分自身と対話をしながら成長できることを願っております。

最後に保護者の皆様。お子様の成長には、保護者と教員の連携が大切です。本校職員は若い職員が大勢います。若いからこそ思春期の子どもたちの気持ちがよく分かり、寄り添うこともできます。そして何より、情熱とエネルギーがあります。しかし、若さゆえまだまだ気づかないことも多々あり、ご心配をおかけすることもあります。学校・担任と保護者がしっかりと手を携え、お子様の健やかな成長につなげていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

令和5年4月
常総市立石下中学校長 松崎 巧